

(個人用)

行政視察等報告書 (個人用)

令和8年 4月 3日

知立市議会議長 様

報告者	岩城 道雄
日時	令和8年3月26日、27日
視察(研修)場所	東京都内
目的	セミナー参加・省庁レク
<p>【概要】</p> <p>研修内容は、生成 AI の基礎と、財政問題の取り上げ方というテーマだった。</p> <p>講師は日本公共経営研究所 所長の宮本正一氏でした。経歴は元寝屋川市議会議員、54代議会議員、ボストン・ウェントワース工科大学卒、神戸大学 MBA、大阪市立大学医学博士</p> <p>かつ元大阪府知事の橋下徹氏の選挙対策本部で事務局長なども経験。</p> <p>わかりやすく初心者のことかなり意識した語り口で非常に助かった。自分のような pc 音痴は出来る人には当たり前のことが出来なくて、本題に入る前に挫折してしまうようなことがおおいので、今回の研修はそのようなことも起きずよかった。</p> <p>「生成 AI の基礎」では、基礎から生成 AI の使いかたについて説明があり、AI の便利さと限界、利用の際の注意点が語られた。注意点では、利用する本人のチェックの必要性が強くのべられた。支持の出し方のコツ、①役割を与える②5W1H で具体化③出力方式を指定④対象読者を明示⑤修正を重ねる。「具体的な条件設定」と「対話による修正」がカギであるとの指摘もあり、単純に疑問を問うことで十分という認識を改めさせられた。</p> <p>AI が議員の政策参謀になることは可能でその力を議員がつけることで便利で幅広く、有益な銀活動に近づくことが出来そうな印象を強く持った。</p> <p>「財政問題の取り上げ方」</p> <p>この講義は財政チェックのポイントを指摘していた。</p> <p>主に決算カードの解説だった。決算カードでは、歳入欄の自己調達欄、夕張市の財政破綻への過程で、決算カードから危機を読み取れたという指摘があり、しかも、今も危機に瀕している市町村もあるとの指摘は重いものがあった。財政規模と歳出のバランスを取ることが重要ながら、市町村の運営には必要な歳出はあるわけで、必要な歳出も切りながら、</p>	

それでも危機に直面するなら、早く市民に公開すべきと考えた。知立市に財政指数は悪くない。

市民税等の安定した歳入があることで、財政基盤が他よりも安定している。

財政規律に目を光らせることは、一項目毎に使用の妥当性ばかりでなく、非常に重要な視点と理解した。

財政のここが1、単年度のキャッシュフロー、2年連続赤字はダメ、2、キャッシュストック度財政調整基金が標準財政規模の20パーセント以上であること、3、固定費硬直度は人件費が形状収支比率が30パーセント以下であること等が簡単な財政規律の見方である。

最後に国会内で「防災庁の役割と組織」というテーマで、防災庁の職員から講義を受けた。

防災庁は「徹底した事前防災」と「発災時の対応から復旧・復興までの一貫した防災対応」の司令塔であり、災害対策の基本理念にのっとり、企画立案・総合調整・関係行政機関の施策の推進、大規模地震等への対策等の事務遂行等を具体的に担う組織として発足する。

また、内閣総理大臣のもと、防災大臣、副大臣、大臣政務官を置き、定員352名で組織される。地方機関（防災局）は、防災庁の設置を先行しつつ、当面、大規模地震に対し、地域における事前防災の推進、大規模災害時の政府の災害対応の業務継続性などの観点から、具体的な検討を実施するということである。

【所感、知立市政への反映に向けた課題等】

※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。
報告書は視察（研修）終了後1週間以内に提出してください。